

# 毎月勤労統計調査特別調査

(平成 22 年)

## V 毎月勤労統計調査特別調査について

### 1. 調査の概要

毎月勤労統計調査特別調査は、厚生労働大臣が指定する地域（「指定調査区」という）に所在し、調査産業に属する事業所のうち常用労働者を1～4人雇用する事業所について調べる調査で、年1回8月に実施しています。

### 2. 調査の目的

この調査は、常用労働者1～4人の事業所における賃金、労働時間及び雇用の実態を明らかにするため、毎月実施されている常用労働者5人以上の事業所に関する「全国調査」及び「地方調査」を補完するとともに、各種の労働施策を円滑に推進していくための基礎資料を提供することを目的としています。

### 3. 調査の対象

この調査は、平成18年事業所・企業統計調査に基づき設定した調査区のうちから、一定の方法により抽出された調査区（高知県内39調査区）内に所在し、日本標準産業分類（平成19年11月改訂）の鉱業、採石業、砂利採取業、建設業、製造業、電気・ガス・熱供給・水道業、情報通信業、運輸業、郵便業、卸売業、小売業、金融業、保険業、不動産業、物品賃貸業、学術研究、専門・技術サービス業、宿泊業、飲食サービス業、生活関連サービス業、娯楽業、教育、学習支援業、医療、福祉、複合サービス事業及びサービス業（他に分類されないもの）（その他の生活関連サービス業のうち家事サービス業及び外国公務を除く）に属し、かつ平成21年7月31日現在1～4人の常用労働者を雇用する約500事業所を対象としています。

### 4. 調査結果の算定

調査結果の数値は、高知県の1～4人の常用労働者を雇用する全事業所に対応するものとして算定された数字です。調査事業所が少ない産業については、公表はしませんが調査産業計に含めて算定しています。また、今回の特別調査は、平成19年11月に改訂された日本産業分類で集計されており、前年（平成14年3月改訂日本産業分類）までの統計表の産業分類とは異なっていますので、単純に時系列比較ができませんことにご注意ください。

## VI 調査結果の概要

### 1. 賃金

平成 22 年 7 月における 1～4 人規模事業所の月間「きまって支給する現金給与額」は、調査産業計で **162,876 円**であり、前年の 166,116 円と比べると、2.0%減となっています。

東京を 100 とした地域間格差をみると、調査産業計で高知県は **73.2（全国第 45 位）**で全国平均の 83.0 を 9.8 ポイント下回っています。

平成 21 年 8 月 1 日から平成 22 年 7 月 31 日までの 1 年間に賞与など「特別に支払われた現金給与額」は、調査産業計で **156,318 円**であり、前年の 162,160 円と比べると 3.6%減となっています。また、「特別に支払われた現金給与額」は、「きまって支給する現金給与額」の 66.0%となっています。

**表 1）産業及び男女別 1 人平均きまって支給する現金給与額  
及び 1 人平均年間特別に支払われた現金給与額（勤続 1 年以上）**

| 産業                | きまって支給する現金給与額 |         |         | 特別に支払われた現金給与額<br>(勤続1年以上) |         |         |
|-------------------|---------------|---------|---------|---------------------------|---------|---------|
|                   | 計             | 男       | 女       | 計                         | 男       | 女       |
| <b>調査産業計</b>      | 162,876       | 206,755 | 133,200 | 156,318                   | 175,863 | 142,545 |
| 鉱業, 採石業, 砂利採取業    | x             | x       | x       | x                         | x       | x       |
| 建設業               | 213,750       | 223,137 | 163,794 | 105,692                   | 95,280  | 159,921 |
| 製造業               | 178,042       | 211,453 | 106,293 | 44,376                    | 42,521  | 48,090  |
| 電気・ガス・熱供給・水道業     | -             | -       | -       | -                         | -       | -       |
| 情報通信業             | x             | x       | x       | x                         | x       | x       |
| 運輸業, 郵便業          | 220,656       | 233,526 | 110,753 | 156,772                   | 153,534 | 181,281 |
| 卸売業, 小売業          | 172,495       | 213,839 | 143,998 | 132,348                   | 151,611 | 118,246 |
| 金融業, 保険業          | x             | x       | x       | x                         | x       | x       |
| 不動産業, 物品賃貸業       | x             | x       | x       | x                         | x       | x       |
| 学術研究, 専門・技術サービス業  | x             | x       | x       | x                         | x       | x       |
| 宿泊業, 飲食サービス業      | 109,188       | 153,225 | 95,966  | 6,972                     | 12,247  | 5,514   |
| 生活関連サービス業, 娯楽業    | 117,252       | 155,923 | 104,050 | 53,042                    | 81,165  | 45,257  |
| 教育, 学習支援業         | 173,622       | 195,901 | 144,985 | x                         | x       | x       |
| 医療, 福祉            | 182,158       | 227,271 | 170,411 | 340,060                   | 422,111 | 314,445 |
| 複合サービス事業          | 177,283       | 239,772 | 161,870 | 558,959                   | 807,616 | 505,822 |
| サービス業(他に分類されないもの) | 199,032       | 218,524 | 159,330 | 279,305                   | 338,802 | 151,046 |

### 2. 労働時間

平成 22 年 7 月における出勤日数は、調査産業計で **21.1 日**（前年 21.5 日）となり、前年をわずかに減っています。

出勤日数を男女別に見ると、**男性 22.4 日**（前年 22.4 日）、**女性 20.3 日**（前年 20.9 日）となっています。

1 日当たりの総実労働時間数は、**7.0 時間**（前年 7.1 時間）となっています。

総実労働時間を男女別に見ると、**男性 7.6 時間**（前年 7.8 時間）、**女性 6.6 時間**（前年 6.7 時間）となっています

**（表 2）産業及び男女別 1 人平均月間出勤日数及び 1 日の実労働時間数**

| 産業                | 出勤日数 |      |      | 通常日1日の実労働 時間数 |     |     |
|-------------------|------|------|------|---------------|-----|-----|
|                   | 計    | 男    | 女    | 計             | 男   | 女   |
| <b>調査産業計</b>      | 21.1 | 22.4 | 20.3 | 7.0           | 7.6 | 6.6 |
| 鉱業, 採石業, 砂利採取業    | x    | x    | x    | x             | x   | x   |
| 建設業               | 22.1 | 22.1 | 22.1 | 7.7           | 7.7 | 7.6 |
| 製造業               | 20.9 | 21.9 | 18.8 | 7.5           | 8.0 | 6.6 |
| 電気・ガス・熱供給・水道業     | -    | -    | -    | -             | -   | -   |
| 情報通信業             | x    | x    | x    | x             | x   | x   |
| 運輸業, 郵便業          | 21.5 | 21.6 | 20.6 | 8.3           | 8.6 | 6.0 |
| 卸売業, 小売業          | 22.5 | 23.8 | 21.7 | 7.2           | 7.6 | 7.0 |
| 金融業, 保険業          | x    | x    | x    | x             | x   | x   |
| 不動産業, 物品賃貸業       | x    | x    | x    | x             | x   | x   |
| 学術研究, 専門・技術サービス業  | x    | x    | x    | x             | x   | x   |
| 宿泊業, 飲食サービス業      | 18.9 | 21.6 | 18.1 | 5.8           | 7.3 | 5.3 |
| 生活関連サービス業, 娯楽業    | 20.1 | 19.5 | 20.3 | 7.2           | 8.2 | 6.8 |
| 教育, 学習支援業         | 18.2 | 19.2 | 16.9 | 6.0           | 5.7 | 6.2 |
| 医療, 福祉            | 21.1 | 22.2 | 20.8 | 7.0           | 6.6 | 7.1 |
| 複合サービス事業          | 19.9 | 21.6 | 19.5 | 6.9           | 7.6 | 6.7 |
| サービス業(他に分類されないもの) | 20.5 | 21.7 | 18.2 | 8.1           | 8.3 | 7.6 |

### 3. 雇用

#### (1) 男女別の構成

平成 22 年 7 月の常用労働者数は **18,593 人** で、前年 **18,643 人** より **50 人** 減少しています。

男女別では**男性 7,501 人**、**女性 11,092 人**と女性が **59.6%**を占めています。

**（表 3）産業及び男女別常用労働者数**

| 産業                | 常用労働者数       |        |       | 常用労働者数<br>(勤続1年以上) |        |       |
|-------------------|--------------|--------|-------|--------------------|--------|-------|
|                   | 計            | 男      | 女     | 計                  | 男      | 女     |
|                   | <b>調査産業計</b> | 18,593 | 7,501 | 11,092             | 16,497 | 6,820 |
| 鉱業, 採石業, 砂利採取業    | x            | x      | x     | x                  | x      | x     |
| 建設業               | 1,275        | 1,073  | 202   | 1,252              | 1,050  | 202   |
| 製造業               | 952          | 649    | 302   | 872                | 581    | 290   |
| 電気・ガス・熱供給・水道業     | -            | -      | -     | -                  | -      | -     |
| 情報通信業             | x            | x      | x     | x                  | x      | x     |
| 運輸業, 郵便業          | 306          | 274    | 32    | 275                | 243    | 32    |
| 卸売業, 小売業          | 6,972        | 2,845  | 4,127 | 6,417              | 2,712  | 3,705 |
| 金融業, 保険業          | x            | x      | x     | x                  | x      | x     |
| 不動産業, 物品賃貸業       | x            | x      | x     | x                  | x      | x     |
| 学術研究, 専門・技術サービス業  | x            | x      | x     | x                  | x      | x     |
| 宿泊業, 飲食サービス業      | 3,483        | 804    | 2,679 | 2,757              | 597    | 2,160 |
| 生活関連サービス業, 娯楽業    | 1,536        | 391    | 1,145 | 1,291              | 280    | 1,011 |
| 教育, 学習支援業         | 453          | 255    | 198   | x                  | x      | x     |
| 医療, 福祉            | 1,234        | 255    | 979   | 1,071              | 255    | 816   |
| 複合サービス事業          | 699          | 138    | 561   | 655                | 115    | 540   |
| サービス業(他に分類されないもの) | 932          | 625    | 307   | 900                | 615    | 285   |

## (2) 産業別の構成

1～4人規模事業所における常用労働者の産業別の構成比は、「卸売業, 小売業」の37.5%が最も高く、次いで「宿泊業, 飲食サービス業」の18.7%と、この2産業で全体の5割以上を占めています。

